

---

# DEVIL SURVIVOR2-ARCHIVES-

亜兎羅須

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

DEVIL SURVIVOR2 - ARCHIVES -

### 【Zコード】

Z6621Y

### 【作者名】

亜鬼羅須

### 【あらすじ】

これは『DEVIL SURVIVOR2 - GRAND CROSS -』の登場人物や、用語の意味について記した設定資料集です。物語の核心についてかなり頻繁に触れている為、ネタバレ等を嫌う方はご注意ください。また『DEVIL SURVIVOR2 - GRAND CROSS -』 자체が『DEVIL SURVIVOR2』の一次創作である為、本設定集にも公式のそれにかなりの修正や改変を加えたものになっています。これらの点について容認できる方のみ、本設定集に目を通して下さい。

## 『冬川威月』

ふゆかわ  
いつき  
冬川威月

- ・性別：男
- ・年齢：18歳
- ・身長：181センチ
- ・体重：59キロ
- ・誕生日：6月10日
- ・星座：ふたご座
- ・血液型：A型
- ・住所：半蔵門線沿線
- ・種族：人間
- ・容姿：天然パーマ、黒髪、青い目、白い肌。髪の色と形は父親譲りで、目は母親譲り。端正な顔立ち（服装によつては性別が変わつて見えてしまう程）、無表情多し。足が細長く、それに伴い、背も高い。雪のように白いウサミミパーカー付きの衣服（フードの内側にヘッドホンが内蔵されている）、服を着ていては見えないが、左肩の後ろに赤い薔薇を模した刺青がある。

・職業：高校生

・尊敬する人物：スティーブ・ジョブズ

・好きな本：『進撃の巨人』

・好きな映画：『アイスエイジ』シリーズ

・性格：口数が少なく、人との会話においても、どこかずれた回答をする事が多いが、基本的には思いやりがあり、優しい性格。ただし、敵に対しては容赦しない（戦闘の際は、言葉づかいが、父親譲りのやや乱暴なものになる）。仲間想いである一方で、自分にしか被害が及ばないような状況になると、途端に後先見ないような、危険な行動をとる事がある。また、考え方をしている際に、髪をクシヤクシャにするという癖があり、彼の髪型が天然パーマのようなものであるのはその為。

・座右の銘：剛毅果斷  
（じょういつきかだん）

・知識：知能指数は高いが、そこに蓄えている知識自体は、並の高校生よりもやや密度が高い程度で、基本的には一般的の範疇（はんとう）を出ない。しかし、物覚えは非常に良いので、努力次第では、フミにも劣らない知識を吸収できる素養を持つている。

・健康：本編時点では、特に目立った身体的障害はなく健康そのものだが、11歳の頃に交通事故に遭い、背中の皮膚の4分の3を損傷。搬送された病院にて、同事故の被害に遭った母親の皮膚を移植する事となる。奇跡的に威月は一命を取り留めたが、残念ながら母親は助からず、死の淵から生還した息子を愛おしく抱きしめた後、

安らかに息を引きとつた。以降、威月の背中にある、母親から移植した皮膚（全体的に、左肩の後ろの部分を多く占める）には、かつて母親の左腕にあつた、赤い薔薇を模した刺青が浮かび上がるようになった。

・趣味：登山。彼の自室には、これまでに撮った風景写真の数々が飾られている（一部には、珍しい動物の写真などもある）。

・好物：フルーツ味のジュース（特にリングゴジュースが好きだが、例外としてブドウジュースのみは不可。理由は、どういう訳か、飲んだ瞬間に意識を失ってしまう程に耐性がない為）。

・嫌いなもの：ブドウジュース。理由は上記を参照。

・武器：特になし。

・スポーツ歴：かつては近場にある少年サッカークラブに所属しており、地元のニュースや雑誌で度々取り上げられるほど優秀な成績を収めていたが、11歳の頃に起きた交通事故と、同事故によって母親を失つた際の精神的ショックから、後にクラブを退団。それ以来は、サッカーボールを見ただけで事故の事を思い出してしまうようになり、テレビなどでも、決してサッカー関連の番組には目を通さない。

・得意なスキル： から吸収したスキル全般。

・特技：倒した の能力の一部を吸収することが出来る。

原因は、かつて威月が交通事故に遭つた際、 から来た彼の母親の不運の出来事に興味をもつた が、彼女と約束し、自分の力の一部を威月の体内に宿し、彼の命を救つた事による影響。

また、  
の感情の流れなどを僅かながらも読み取る事が出来、意識的に行えば、遠く離れた場所にいる同存在の居場所を直感的に把握できる（ただし、この能力の場合、分かるのは居場所のみで、それ以上の事はわからない）。また、仮に近距離で感情を読み取つたとしても、理解できるのはあくまで『感情』のみで、具体的に何を考えているか等は把握できない）。携帯を介さずに、直接身体から魔法を用いる事ができるのも、同じ理由からである（基本、今事件において人間が魔法を使用する際は、悪魔召喚アブリを搭載した携帯を媒介として、そこで基本的なプログラムを組み、出力する事で魔法を発動させている）。仲間内で彼と同じ事が出来るのは、彼を除いてはヤマトのみ。また、歌が得意で、その腕前はプロ並み（母親の遺伝である）。音痴であるオトメがそれを知つた際、思わず彼女が嫉妬してしまう程。

- ・過去：11歳の頃に交通事故に遭う。あるサッカー大会の帰り道にて、自らの不注意で道路に飛び出してしまった事が原因で、そこへ助けに入つた母親もろとも重症を負つてしまつ。奇跡的に威月のみは一命を取り留めるが、母親は死亡。以降威月は、母親が死んだのは自分のせいだと思い込むようになり、今でもそのトラウマを引きずつっている（時折、自分に恨みの言葉を吐いてくる母親の夢を見ては、うなされてしまう程）。同時に、自分の行いによって他の誰かが傷つく事に関して、極端な恐怖心を覚えるようになり、それがやがては、今作の事件の際に彼が度々見せる、ある種無謀とも言える数々の行動の原因となつていて。

- ・家族：父は生前に蒸発したとしか聞いておらず、真偽のほどは確かめていない。母親については上記を参照。姉が1人いるが、事件の際に消息不明となる。

- ・恋人：なし。

- ・休日に行きたい旅行先・山（叶うならば、海外の有名な山々にも赴きたいと思っている）。

## 『志島大地』

志島  
だいち  
大地

- ・性別：男
- ・年齢：18歳
- ・身長：171センチ
- ・体重：57キロ
- ・誕生日：8月15日
- ・星座：しし座
- ・血液型：B型
- ・住所：半蔵門線沿線
- ・種族：人間
- ・容姿：やや幼さの残る顔立ち。耳元を隠す程度に伸びた茶髪を、額の前で分けている。目の色も同じく茶色。公私に関わらず、可能な限り、常に黄色のマフラーを巻くようにしている。靴の色も黄色と、同色は彼のお気に入りの色である。
- ・職業：高校生

・尊敬する人物：テッド・ウイリアムズ

・好きな本：ONE PIECE

・好きな映画：『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズ

・性格：明るく人懐っこい。細かい事は気にしない性格で、どこか似たような価値観を持つジョーとは、度々意気投合する間柄。年頃の男子らしく異性にも興味があり、彼の学校で大和撫子と謳われるイオや、マコトやフミなどの女性にも興味を示し、事件4日目にジプスで行われた健康診断の際は、これ以上ないほどに煩惱を高ぶらせていた。また、やや消極的で他人任せな面があり、それが原因で、時には他の仲間が傷ついてしまう事も。

・座右の銘：虚心坦懐きよしんたんかい

・知識：特にこれと言つて秀でた知識はない。漫画やアニメ、ゲームなどのエンターテイメントの流行に少々詳しい程度。

・健康：特に目立った身体の問題はない。

・趣味：ゲーム、映画鑑賞。月に1度は、必ず威月と共に都内の映画館に行く。

・好物：炭酸飲料全般

・嫌いなもの：コーヒー

・武器：特になし。

・スポーツ歴：過去にリトルリーグに所属していたが、シニアには進んでいない。

・得意なスキル：火炎属性全般

・特技：ゲーム（特にF.P.Sなどのジャンル）の腕前には自信があると自ら語っている。

・過去：中学生の頃、両親がいないせいで、威月が同級生達から執拗ないじめを受けていた事に気づきながらも、巻き込まれたくないという理由から、一時期、威月から距離を置くようになる。その時は威月と自分との友情の破綻を覚悟したが、後に、都内の路地裏で何人かの不良に絡まれている所を威月に助けられてからは、それまでの自分の行いを恥じ、彼に謝罪。以降は、これから先、どんな事があろうとも、自分だけは常に冬川威月の味方でいようと心に誓つようになる。

・家族：父、母。

・恋人：なし。

・休日に行きたい旅行先：海、もしくは山（出来れば車で行ける所）

## 『新田維緒』

新田維緒  
にった いお

- ・性別：女
- ・年齢：18歳
- ・身長：159センチ
- ・体重：詳細不明
- ・誕生日：5月3日
- ・星座：おうし座
- ・血液型：A型
- ・種族：人間
- ・住所：有明（小学生の頃に移住）
- ・容姿：ボブカットの茶髪、パッチリとした目。非常にスタイルが良く、ダイチ曰く『パワー・フェクト』との事。
- ・尊敬する人物：マザー・テレサ
- ・職業：高校生

・好きな本：『ハリー・ポッター』シリーズ

・好きな映画：『卒業』

・性格：他人を思いやり、気取ったところもない、おとなしい性格。その為、ダイチを含む同じ高校に通っている男子生徒からは『絶滅危惧種の大和撫子』と呼ばれているが、それは同時に、周囲に意見を合わせすぎる、じつに付かずな性格である事も示唆している。

・座右の銘：無私無偏むじむへん

・知識：学校の授業に対する理解は深く、普段からも予習、復習は怠らないが、その反面、悪魔や星座などに関する諸説には疎い。

・健康：特に問題はないが、ジップスの健康診断において、極端な靈媒体質である事が明らかになる。この事が原因で、後に、過酷な運命を背負う事となる。

・趣味：読書

・好物：アイス（特にカップアイスが好き）

・嫌いなもの：猫舌の為、熱い物全般は苦手。

・武器：特にない……が、『  
』を体内に宿してからは、雷の剣を虚空から創りだして操る事が出来るようになる。

・スポーツ歴：なし。

- 得意なスキル：電撃属性全般。

- 特技：事件の過程で『　　』という悪魔を体内に宿す事となり、以降、同悪魔の力がある程度操れるようになる。

- 過去：幼い頃、たまたま両親が言い争いをしているのを聞いてしまい、その際、何とか仲裁しようと口を出した結果、両親から一体イオはどちらの味方なのかと強く問い合わせられ、その出来事を機に、滅多な事では自分から意見は言わず、他人の調子に合わせる事が多くなる。先の件に関しては、ほんの数日もしない内に両親は和解し、思わずきつく当たってしまったイオにも誠心誠意謝罪したが、まだ自分が定まりきっていなかつた頃の出来事であつただけに、後の彼女の人間性に大きな影響を与える程の心の傷となっていた。

- 家族：父、母共に、ポラ里斯の初撃によって死去してしまう。

- 恋人：なし。

- 休日に行きたい旅行先：特になし。

## 『秋江譲』

あきえ  
秋江譲 ゆずる

- ・性別：男
- ・年齢：25歳
- ・身長：178センチ
- ・体重：63キロ
- ・誕生日：2月14日
- ・星座：みずがめ座
- ・血液型：A B型
- ・住所：出身は名古屋だが、今は東京に住んでいる。
- ・種族：人間
- ・容姿：白黒の縞模様の帽子を被つていて、分かりにくいが、若干茶色のかかった短髪である。サングラスのようにややレンズの色の黒いメガネをかけている。帽子と同じく、白と黒の縞模様のスーツを着ており、一応仕事着ではあるが、基本ファッショニには余り関心がない為、プライベートでも同じ格好でいる事が多い。

・職業・貿易会社の営業社員

・尊敬する人物・特になし。

・好きな本・ヤンピヨン

・好きな映画・『シュレック』シリーズ

・性格・俗に言う『ちゃらんぽらん』な性格。いい加減な言動が多く、時間にルーズで、人との待ち合わせに遅れる事がままあるが、事件においてヤマトなどから召集が掛かつた際にはちゃんと遅れる事なく来るなど、基本、重要な局面での失敗は少ない。また、常にどこか気の抜けた彼の性格は、時には、どれだけ危機的な状況においても物事を客観的に捉え、悪魔などの人外の存在を目の当たりにしても決して気圧されないなどの長所も含んでいる。しかし、前述した性格は、当然ながら緊張感の欠如、道化を思わせる態度故に、理解を超える大事などには積極的に関われる気になれないなどの短所も含んでおり、事実、事件において威月のアドバイスを受けるまでは、仕事を理由にして、病院で過ごしている彼女に中々会いに行こうとしなかった。

・座右の銘・悠久自適ゆうひよじてき

・知識・一般常識は全般的に押さえているが、わざわざ自分から他人に対して披露する事は殆どない。

・健康・特に障害はない。

・趣味・漫画喫茶

- ・好物・辛い物全般

- ・嫌いなもの：オクラ

- ・武器・特になし

- ・スポーツ歴：中、高校時代にはバスケ部に所属していた。

- ・得意なスキル：衝撃属性全般。

- ・特技：実は酒豪で、並大抵の量では酔わず、これまでの人生においても、彼が飲み過ぎで潰れた事は一度もない。

- ・過去：幼い頃に両親から虐待されていた過去を持ち、その際に受けた傷の中には、未だに痕として体に残っているものもある。しかし、彼はそんな状況にあっても人道を曲げるような事はせず、否、そんな状況にあつたからこそ、人の優しさが人一倍理解できる、心優しい性格になつた（この一点においては、ジュンゴとどこか似通つたところがある）。また、現在彼が付き合つている彼女は、幼き日の彼を知る数少ない人間の1人で、当時は小学校の同級生だつた。

- ・家族：なし

- ・恋人：現在入院中。ジョー曰く『夜なべして手袋編んでくれるような子』との事。

- ・休日に行きたい旅行先：ハワイ。

## 『迫真琴』

さじまこと  
迫真琴

- ・性別：女
- ・年齢：26歳
- ・身長：172センチ
- ・体重：53キロ
- ・誕生日：11月2日
- ・星座：さそり座
- ・血液型：A型
- ・住所：ジップス東京官舎
- ・種族：人間
- ・容姿：青い目に、青い髪。鋭い目つきが特徴の顔立ち。服装は、ほぼ休みのない多忙な毎日を送っている為に、常に仕事着でいる事が多く、実際、私服は殆ど所持していない。ただし、学生時代に着用していたシンク口用の水着は、未だ当時の思い出を捨てきれないのか、今でも、彼女の自室の箪笥の奥に眠っている。

・職業・ジップス東京支局局員

・尊敬する人物・チエ・ゲバラ

・好きな本・『千里眼』シリーズ

・好きな映画・特になし（そもそも多忙である為、普段から映画館に行く機会 자체が殆どない）。

・性格・恩のあるジップスに対して忠誠を誓う生真面目な性格で、仕事に対する彼女の真摯な姿勢は、ヤマトも一目置いている。しかし、その忠誠心故に自らの意見を唱える事は殆どなく、基本、ヤマトを含む上官の命令に対しても、例えそれが自らの意見にそぐわないものであろうとも、絶対服従の姿勢を崩さない。それが原因で、本編では、本心と理性との狭間で苦しむ事となる。

・座右の銘・忠魂義胆

・知識・仕事柄、ジップスの局員は皆例外なく悪魔や神話に関する知識は深い。マコトにてもその例外ではなく、作中においても、力一マヤシヴァに關する伝承について、淀みなく説明していた。

・健康・特に異常はない。

・趣味・ツーリング

・好物・スポーツ飲料水

・嫌いなもの・プロテイン（学生時代、体作りの為に一度試した事があつたが、その時感じた余りの味の酷さは彼女にとつてトラウ

マになつてあり、今ではもう一度と飲む氣にはなれないらしい)。

- ・武器：特になし。
- ・スポーツ歴：前述したように、学生時代にはシンクロナイズドスイミングの選手として活躍していた。
- ・得意なスキル：氷結属性全般。
- ・特技：学生時代はシンクロナイズドスイミングの日本代表候補に選ばれる程の実力者であったが、交通事故に遭ったのをきっかけに選手生命を失い、今では当時のように泳ぐ事は出来ない（厳密には単純に『泳ぐ』こと自体は決して不可能ではないが、シンクロのような複雑な動きをする事は出来ない、という事である）。
- ・過去：ここまで何度か触れてきたように、かつてはシンクロナイズドスイミングの選手として、日本代表候補に挙がる程の逸材だった。しかし、不運の事故により引退を余儀なくされ、失意の底に沈む事となる。そんな当時の彼女に對して声を掛けてきたのがジップスであり、最初はただ心のわだかまりをぶつけるような意識で仕事に取り組んでいたマコトだが、やがては同職に對してやりがいを感じるようになり、それからは、自分に再び生きる力を与えてくれたジップスに恩を返す事を、現時点における人生の目標としている。
- ・家族：父、母、弟（いずれも、ジップスに入局した時から疎遠になつてている）。
- ・恋人：なし
- ・休日に行きたい旅行先：鎌倉、日光



## 『峰津院大和』

ほうついん  
やまと  
**峰津院大和**

- ・性別：男
- ・年齢：17歳
- ・身長：175センチ
- ・体重：58キロ
- ・誕生日：6月10日
- ・星座：ふたご座
- ・血液型：A B型
- ・住所：主に東京だが、その時携わっている仕事の内容によつては、期間的に転々とする事が多い。
- ・種族：人間
- ・容姿：一族特有の極端に色素の薄い髪と目を受け継いでおり、威月と同じく、服装いかんによつては性別が違つて見える程の美青年である。黒で統一されたコートに網のブーツを履いており、潔癖症なのか、その手には常に白い手袋を嵌めている。

・職業・気象庁・<sup>ジブス</sup>指定地磁気調査部大阪本局局長

・尊敬する人物：なし（過去の偉人に限らず、彼が他の誰かに対しても尊敬の念を抱く事は殆どない）。

・好きな本：特になし

・好きな映画：特になし

・性格：徹底した実力主義の持ち主で、特別な実力や才能を持つ人間は重宝する一方で、特に役に立たない人間は、この世に必要のない愚図としか認識しないという、ある種冷徹な思想を持っている。しかし、基本的には特別な教育を受けていない民間人でありながら、正規のジブス局員以上の成果をあげる威風に出会い、彼の実力を認めてからは、俗世の中にも特別な力を持った者がいる事を知り、同時に、今まで一切の関心を示さなかつた一般社会にも、ある程度の興味を示すようになる。

・座右の銘：<sup>じっせんきゅう</sup>実践躬行

・知識：幼い頃からの専属の講師達による英才教育と、生まれつきの聰明な頭脳によつてこれまで築き上げてきた彼の知識は並ではなく、同年代の若者たちのそれを遥かに凌ぐ。ただし、義務的な教育機関には所属しておらず、自らの意思で外出する事も殆どなかつた為、時には誰もが知つてゐるよつた一般常識に対して、非常に疎い一面を見せる事もある。

・健康：特に異常はない。

・趣味：戦史研究

- ・好物：寿司

- ・嫌いなもの：特になし

- ・武器：一般には知られていない東京都庁の地下に、峰津院一族の象徴とも言える『龍脈』の力を解放する超巨大戦術術式が記された一室を所持している。その威力は、過去の長い日本の歴史の中でも随一で、本編の時点での術式の管理権と、最終使用権の全ては、峰津院家当主であるヤマトが握っている（管理権についてはともかく、最終使用権に関しては、普段は内閣総理大臣にある）。

- ・スポーツ歴：剣道、柔道、弓道、合気道、空手道などの、日本古来から伝わる武道については、一通り教育を受けている。

- ・得意スキル：万能属性全般。

- ・特殊能力：『龍脈』。前述のように兵器として用いるだけではなく、ある条件下においては、その力の一部分をその身に宿し、超人的な身体能力を得ることが出来るなど、その力の使用法は多岐に渡る。長く続く、超自然的な現象の対処に特化した峰津院一族の現当主であるだけに、先天的な靈的素質にも非常に優れており、威月と同じように、悪魔召喚アプリを搭載した携帯を通さずとも、直接身体から魔法を発動する事が出来る。

- ・過去：物心ついた頃から峰津院の当主にふさわしい人間になる為にと、徹底した英才教育を受け、また帝王学や政治について学んでいく内に、一部の堕落した権力者による国政の腐敗を何度も目の当たりにし、時間の経過と共に、この世は、家柄や人脈に関係なく、真に優秀な者のみによって構成されるべきである、という思いが、

彼の中で強くなっていく。しかしその一方で、自分に対して一切遠慮せず、むしろ同じ立場で意見を言ってくれる『友』の存在を無意識の内に欲しており、威月に出会うまでは、そうした思いまでもが前述した野望を叶える為の原動力となっていた。

- ・家族：父、母（他にも一卵双生児の妹がいるが、ヤマト自身もその事は把握していない）

- ・恋人：なし。

- ・休日に行きたい旅行先：休日 자체が殆どない生活を送っている為、特にそういうた願望はない。

## 『九条絢那子』

くじょう  
ひなこ  
**九条絢那子**

- ・性別：女
- ・年齢：19歳
- ・身長：170センチ
- ・体重：48キロ
- ・誕生日：3月19日
- ・星座：うお座
- ・血液型：B型
- ・住所：実家は京都だが、今は大阪で一人暮らししている。
- ・種族：人間
- ・容姿：腰まで伸ばした橙色の長髪を、花をあしらつた髪留めでまとめており、青い縁のメガネをかけている。肌をかなり大胆に露出させた扇情的な服装をしており、威月からは『一体何のために服を着ているのか』と面と向かって指摘されてしまう程。ちなみに、メガネは伊達である。

・職業・ダンサー。アルバイトでインストラクターもしている。

・尊敬する人物・坂東三津五郎

・好きな本・『星の王子さま』

・好きな映画・『フラッシュダンス』

・性格・京都出身者を体現するかのような姉御肌な性格。押しが強く、はつきりとした性格で、例え悪魔が相手でも全く物怖じしない。正義感も非常に強く、悪魔の出現によつて苦しむ大阪の人々を助ける為に、悪魔を用いて人助けを行い、その代表格とも言えるジプスと関係を持つため、偶然出会つた威月たちと行動を共にするようになる。また、束縛される事を嫌い、幼い頃から日舞のレッスンを強いてきた両親には強く反発しており、高校卒業と同時に家を飛び出し、余りにも露出の激しい服装に対して威月が着替えるよう促した際も、強く反発している。

・座右の銘・自由奔放

じゆうほんぽう

・知識・生い立ちの関係から、踊り全般に関して詳しく、特に、日舞に関する理解は非常に深い。

・健康・基本的に異常はないが、その露出の激しい服装が原因で塞さに当たられ、体調を崩す事がある。しかし、本人曰く『普通のメガネ女子はイヤ』との事で、改善するつもりはないらしい。

・趣味・暇さえあれば、日舞以外のダンスを積極的に覚えようとしている。

・好物：こんにゃくゼリー

・嫌いなもの：アイス（腹部が冷えやすい）

・武器：武器として使う事はないが、常に扇子を持ち歩いている。

・スポーツ歴：幼少期よりダンスのレッスンに明け暮れていた為、学校でも部活には所属していない。

・得意なスキル：『会心の予言』や『護りの盾』などの補助スキル全般。

・特技：ダンス。

・過去：由緒ある日本舞踏『九条流』の家元の1人として、幼い頃より厳しい英才教育を受けてきたが、成長するにつれて親に反発するようになり、ついには、高校卒業と同時に家を飛び出すようになる。そのような過去を持つ為か、自分の人生は自分で決めるべきといつ意識は、他の人間よりも一倍強い。

・家族：父、母

・恋人：なし

・休日に行きたい旅行先：カルナバル

## 『和久井啓太』

わくい  
けいた  
和久井啓太

- ・性別：男
- ・年齢：16歳
- ・身長：160センチ
- ・体重：47キロ（ただし、ボクシングの試合の度に減量を行う為、変動が激しい。先のデータは、事件の最中において行われた健康診断の際のデータである）
- ・誕生日：12月8日
- ・星座：いて座
- ・血液型：O型
- ・住所：大阪
- ・種族：人間
- ・容姿：銀色の髪をオールバックにしており、その鋭い眼光を主とした一匹狼的な印象から、尖ったナイフのような雰囲気を常に纏っている。基本的にズボンは短パンで（ボクシング漬けの生活をしている内に、すっかり定着してしまった）、余程の寒さでもない限り

は、そのスタイルを崩さない。

- ・職業：高校生
- ・尊敬する人物：ロッキー・マルシアノ
- ・好きな本：特にないが、年に何冊ものボクシング関連の書物を買  
いあさつている為に、気づいた時には自室の本棚を占領されている  
事が多い。
- ・好きな映画：『ランボー』シリーズ
- ・性格：過去のとある出来事が原因で、異常とも言えるほど力を欲  
してあり、非常に粗暴で好戦的な性格をしている。民間の高校生と  
いう立場にありながらジップスの一員として事件の収束に当たってい  
るが、それにも、純粹に被害者たちの事を心配した訳ではなく  
『より充実した実戦経験を積む為』という理由からである。しかし、  
いざという時は悪魔に殺されそうになっている子供を身を張つて助  
けるなど、その本質は決して悪ではない。
- ・座右の銘：独立独歩じくべつじくほ
- ・知識：義務教育に対する意欲は全くと言つていい程なく、フミ等  
が専門用語を交えた難しい話を始めるに、決まって苦虫を噛み潰し  
たような表情を取る。
- ・健康：特に異常はなく、これまで、病気を理由に学校をさぼっ  
た事はない（単純に『面倒だから』という理由でなら何度もあるが）

・趣味：ロードワーク（娯楽を目的としてはいない為、厳密には趣味とは言い難い）

・好物：梅干し

・嫌いなもの：そば、うどん等の麺類

・武器：特になし

・スポーツ歴：幼い頃よりボクシングに打ち込んでおり、事件前には、インターハイに出場する程の実力を持つている。

・得意なスキル：物理属性全般。

・特技：ゲームセンターでのパンチゲームでは訪れる店全てにおいて、毎回新記録を打ち立てている。しかし、本人曰く『あの手のゲームはわざと数値を大げさに出すよう設定されているから、當てにはならない』との事。

・過去：幼い頃、親友に騙されて借金を負わされた父親が失踪した事から、この世の本質が弱肉強食である事を知る。彼のその悲しいまでの力を欲する姿勢と孤高な態度は、肉親である親に捨てられたこの事件が原因（實際には、父親が失踪したのは自分一人だけが借金を背負つて姿を消し、愛する家族を守る為である）。

・家族：なし

・恋人：なし

・休日に行きたい旅行先：特になし（本人曰く『修学旅行でうんざ



## 『伴亞衣梨』

伴亞衣梨  
ばんあいり

- ・性別：女
- ・年齢：15歳
- ・身長：153センチ
- ・体重：詳細不明
- ・誕生日：1月18日
- ・星座：やぎ座
- ・血液型：B型
- ・住所：名古屋
- ・種族：人間
- ・容姿：赤い長髪に、やや丸っこい、幼い顔立ち。公私問わず、殆どの場合において白いマフラーを巻き、同じく白いニット帽を被っている。また、マフラーには音符をあしらった模様が全体に施されている。

・職業・高校生

・尊敬する人物・フィリップ・ロベール・ルイ・パジェス

・好きな本・『のだめカンタービレ』

・好きな映画・『チャーリーとチョコレート工場』

・性格・非常に感情的で、思つた事がすぐ口に出る性格（ついでも手も出る事が多い）。が、寂しがり屋な一面も持ち、1人になつた際はオシリス41を眺めたり、行方知れずとなつた父親の私物である彼の手帳を見つめたりしている。

・座右の銘・安分守あんぶんしゅき己

・知識・過去に必死に練習した影響からか、音楽（特にピアノ関係）に対する理解が深い。

・健康・特に問題はないが、過去にピアノの練習をし過ぎて、何度か腱鞘炎になつた事がある。

・趣味・音楽鑑賞。ただしクラシックに関しては、ピアニストの夢を諦めてからは一切聴かなくなつた。

・好物・りんご飴

・嫌いなもの・せんべい

・武器・特になし

- ・スポーツ歴：特になし

- ・得意なスキル：火炎属性全般

- ・特技：ピアノ（得意ではあるが、本編の時点では、仮に頼まれたとしても人前で披露する事はない）

- ・過去：幼少期より近場のピアノの塾に通い、その腕前はオシリス41で開かれたコンクールにて優勝する程で、本人もいつかはピアニストになる事を夢見ていたが、家庭の事情により断念。その時を境に、ややひねくれた性格になつてしまふ。

- ・家族：母、兄（父に関して、本人は亡くなつたと認識しているが、実際には、ジプスから逃れる為に姿を晦ませただけである。しかし、事件の最中、ある出来事において本当に息を引き取つてしまつ）。
- ・恋人：なし

- ・休日に行きたい旅行先：ウィーン、ダブリンなど。

## 『鳥居純吾』

とりい じゅんご  
鳥居純吾

- ・性別：男
- ・年齢：19歳
- ・身長：182センチ
- ・体重：67キロ
- ・誕生日：10月16日
- ・星座：てんびん座
- ・血液型：O型
- ・住所：名古屋
- ・種族：人間
- ・容姿：黒いニット帽を深く被っているため分かりにくいが、常にどこか眠たそうな顔をしている。髪型は耳元を隠す程度のごく普通の黒発だが、事件の最中に協力させられたフミの実験の結果、見事なアフロにされてしまう。
- ・職業：板前（実際にはまだ半人前で、事件直前も、名古屋の店で

住み込みで働きながら、親方から料理の指導を受けていた（

・尊敬する人物：親方

・好きな本：『力太郎』

・好きな映画：特になし

・性格：相当な口下手で、日常会話においても、ほぼ単語に等しい台詞で終わらせる事が多い。その為に分かりにくいが、実際には人当たりが良く従順な性格で、常に仲間の安全を第一に考えている。また、暇さえあれば唯一の得意料理である茶碗蒸しを作り、仲間に振る舞う事が多いが、実は滅多な事では感謝されないと言つ事に、本人は気づいていない。

・座右の銘：おんじゅうとうとんこう溫柔敦厚

・知識：毎日、板前になるべく修業を重ねている為、料理に関する知識は並の主婦よりもはるかに高い。が、残念な事に、それを実行に移せるだけの実力は、今の所は持ち合わせていない様子。

・健康：特に問題はない。

・趣味：茶碗蒸し作り

・好物：豆腐

・嫌いなもの：ハンバーガー

・武器：特になし

- ・スポーツ歴：特になし

- ・得意なスキル：物理属性全般

- ・特技：人懐っこい性格故か、本来は警戒心が強い事で知られる猫にも、初対面時からすぐになつかれるほど動物に好かれやすい。

- ・過去：幼い頃に両親を事故で亡くして孤児となるも、その人当たりの良い性格から、孤児院の他の児童や大人たちと良好な関係を築き、友愛に満ちた生活を送ってきた。

- ・家族：なし

- ・恋人：なし

- ・休日に行きたい旅行先：特になし

## 『菅野史』

かんの  
ふみ  
菅野史

- ・性別：女
- ・年齢：21歳
- ・身長：164センチ
- ・体重：47キロ
- ・誕生日：7月3日
- ・星座：かに座
- ・血液型：A B型
- ・住所：現在はジップス名古屋駅前に住んでいるが、学生時代の大半はイギリスにて過ごしていた。
- ・種族：人間
- ・容姿：肩元まで伸ばした黒髪をツインテールにし、常に、どこかボーッとした表情でいる事が多い。太腿が大きく露出した白いチャイナ服を着ている姿が殆どだが、これはかつて、ファッショントレンドとして無頓着なフミに対し、オトメがからかい半分に着せた結果、フミが面倒くさがってそのまま着続けるようになってしまったという

のが真相である。

- ・職業：ジプス名古屋支局局員（主な分野は情報処理、研究開発など）

- ・尊敬する人物：特になし
- ・好きな本：特になし
- ・好きな映画：特になし

・性格：普段のどこか呑気な性格と、ジプスの情報処理関係装置、及び『ターミナル』の開発者である等の事から天才肌に見られがちだが、実は相当な苦労人であり、その知識の大半は、彼女の血の滲むような努力の結果である。その余りの博識さ故に、しばしば常人には理解できない会話を展開してしまった等の理由から人付き合いは苦手で、また、本人も積極的に他人とコミュニケーションを取ろうとはしないが、初めて会った時からそんな彼女の話に対しても、ある程度の理解を示した威月には、個人的に興味を示すようになる。

- ・座右の銘：一刻千金

・知識：基本的に、様々な分野において、専門家でさえ脱帽しかねない程の知識を持つが、特にコンピュータ関連の知識においては、他に類を見ない程の才覚を見せる。ただし、人の感情などには基本無頓着で、一応心理学などの知識としては理解しているが、それについて彼女の方から興味関心を示す事は殆どない。

・健康：基本的には健康であるが、普段の食事は栄養ドリンクやサプリメントが主で、睡眠時間も極端に短かつたりと、普段の生活は

とても理想的なそれとは言い難い。これは彼女が自身の健康よりもとにかく研究の推進を重視している為であり、オトメも度々生活習慣の改善を促しているが、本人にその意思はない様子。

・趣味・特になし。

・好物・ミソビタンD

・嫌いなもの・ジャンクフード全般（頭の血の巡りが悪くなる為）

・武器・特にない……が、本編のある場面において、自作のパソコンで悪魔を殴打する事がある。

・スポーツ歴・特になし。

・得意なスキル・氷結属性全般

・特技・6桁までの正負、乗除の計算なら暗算で処理できる。

・過去：幼い頃に両親に捨てられ、中学卒業までを孤児院で過ごし、高校卒業と同時に、研究者となる為、単身イギリスへ渡ったという経歴を持つ。その後同国の大学において、歴史的にも類を見ないほど優秀な成績を収めた末に首席で卒業。その才能を評価され、当時のジプス局長でもある峰津院当主から直々にスカウトされ、研究活動に対する最大限の支援を条件に入局。以降はジプス局員として、その優秀な頭脳を如何なく發揮してゆく事となる。

・家族：なし（亡くなっている訳ではなく、まだフミが幼い頃に、生活苦から彼女を捨てた為に消息不明なだけだが、フミ自身はこれまで2人と連絡を取つた事はなく、また、これからもその気はない）

- ・ 恋人：なし。
- ・ 休日に行きたい旅行先：イギリス

## 『柳谷乙女』

柳谷乙女  
やなぎや おとめ

- ・性別：女
- ・年齢：24歳
- ・身長：162センチ
- ・体重：詳細不明
- ・誕生日：9月9日
- ・星座：おとめ座
- ・血液型：A型
- ・住所：大阪
- ・種族：人間
- ・容姿：両サイドにふんわりとした印象を持つ金髪で、瞳の色も同色。基本的に桃色のナース服の上に白衣を羽織つており、常に、最低限の医療用具を、肩から下げたバッグに入れて持ち歩いている。
- ・職業：ジップス大阪支局局員（医療スタッフ）

・尊敬する人物：マリー・キュリー

・好きな本：『ブラック・ジャック』

・好きな映画：『妹の恋人』

・性格：柔らかい物腰と、常にどこか人を安心させる雰囲気を持つ女性で、局員達からも人気と信頼を得ている。ちなみに、彼女に対して威月は『母親に似ている』という印象を持ち、普段は誰が相手であろうと全く物怖じしない性格である彼も、オトメにだけは何とか親に叱られている子供のような態度を見せる。

・座右の銘：温厚篤実おんじゅうあつじつ

・知識：言つまでもなく医療関係の知識が非常に豊富で、知識としてではなく、実際の治療の腕前もかなりのもの。イオに隠された強い靈媒体質を見抜いたのも彼女である。

・健康：『医者の不衛生』という言葉を常日頃から意識しており、自らの健康状態に関しては、職務を疎かにしない程度には気を遣っている為、特に問題はない。

・趣味：カラオケ……だが、その腕前はいまいちのようで、フミ曰く『特殊な音波』を生み出す事の出来る貴重な（？）歌声との事。

・好物：ナポリタン

・嫌いなもの：とうもろこし

・武器：特になし

・スポーツ歴：中学時代はバレー部に所属していた。

・得意なスキル：回復属性全般

・特技：相手の体に触れるだけで、その人間の健康状態をある程度把握できる『触診』という技術を持ち、特に緊急の診断と治療が必要となる戦闘時において重宝される。

・過去：実は、過去に威月と彼の母親が交通事故に遭った際、その現場に居合わせており、後に2人を運んだ救急車を呼んだのも彼女である。それまでは、いざれ父の病院を継ぐ事になるというレールに沿った自らの人生に嫌悪を抱き、親に反発していたが、母親を失い、静かに涙を流す幼き日の威月の姿を見て、もし、自分の手で、こんな表情を見せる子供を少しでもこの世から減らす事が出来たらと思い、医者の道を目指す事を決意する。彼女の人生の転機とも言える出来事ではあるが、後に彼女と威月が出会ったのは、それから随分と後の事である為、2人とも会つたばかりの頃は、お互いの存在について忘れていた。

・家族：父、母、他にも、過去に叔父夫婦から託された『小春』といふ娘がいる。

・恋人：なし

・休日に行きたがっている為）。

## 『栗木ロナウド』

栗木ロナウド  
くじき

- ・性別：男
- ・年齢：26歳
- ・身長：186センチ
- ・体重：79キロ
- ・誕生日：4月16日
- ・星座：牡羊座
- ・血液型：O型
- ・住所：名古屋
- ・種族：人間
- ・容姿：黒髪を額の前で左右に分けた、ブラジル人の血を引くハーフ。その為か、肌の色が若干濃い。服装はなるべく特徴のない、どんな場所でも馴染めるようなものを好み、事件のさいには深緑色のパンツに、オレンジ色のシャツ、その上から紫色の上着を羽織るというスタイルだった。これは、普段の彼の生活が、刑事という時と場所を選ばないものであり、いつ、どんな時でも事件の捜査に当た

つていじよつにする為である。

- ・職業：刑事
- ・尊敬する人物：坂本龍馬
- ・好きな本：『シャーロック・ホームズ』シリーズ
- ・好きな映画：『犯人に告ぐ』
- ・性格：勸善懲惡を体現したような性格で、悪を憎み、正義を貫く生粋の刑事。ただし、やや冷静さに欠け、感情を先行させ、無謀とも言える行動を取る事も多い。その余りの過激さから、ジップスからは暴徒と見なされてしまつほど（ある意味でその認識は間違つていなが）。
- ・座右の銘：破邪顯正はじやけんじょう
- ・知識：言わばもがな、警察における専門知識等に詳しく、それらの知識の殆どは、かつての職場の先輩であるアーリの父親から受け継いだもの。
- ・健康：特に問題はない。
- ・趣味：ロックライミング
- ・好物：ココナッツ
- ・嫌いなもの：レモン

・武器：一応、警察用の拳銃を持ち歩いてはいるが、悪魔相手には殆ど効果がない為、余り役に立つ事はない。

・スポーツ歴：高校の頃にはキックボクシングのスポーツジムに通っていた。

・得意なスキル：物理属性全般

・特技：生まれながらにして非常に強いリーダーシップを持ち、事件の際も、大勢の民間人を率いてジプスに立ち向かう等、行動力も高い。また、アイリの父親との間で決めた、一見ただの落書きにしか見えない暗号を使うが、肝心のアイリの父親との関係が途切れてしまっている本編においては、それが活かされる事は殆どない。

・過去：昔見た刑事ドラマの影響で同じ刑事を志すようになったという過去を持つ。ただし、実際に警察官になった彼を待ち受けていたのは、理想とはかけ離れた高級官僚や政治家達の汚れた行い等の現実で、深く失望する事になる。

・家族：父、姉、弟

・恋人：なし

・休日に行きたい旅行先：ブラジル

## 『憂う者』

憂う者（　　）（　　）

- ・性別：不明

- ・年齢：不明

- ・身長：178センチ

- ・体重：55キロ

- ・誕生日：不明

- ・星座：不明

- ・血液型：不明

- ・住所：不明

- ・種族：

・容姿：非常に整った顔立ちをした中性的な少年であると同時に、どこか人間らしさに欠けた雰囲気を持つ少年もある。赤と黒の縞模様の服に、黒いパンツを履いている。全体的に肌の色素が薄く、髪と目の色も混じりのない白である。

- ・職業：なし

・尊敬する人物：

・好きな本：なし

・好きな映画：なし

・性格：作中において度々人の理解を超えた発言をする事が多く、彼の人間性（そもそも人間であるかどうかも怪しいが）を完全に把握できる者は殆どいない。基本的には、人類が持つ無限の可能性を信じ、彼等の意見を尊重はするが、自らの目的の為ならば殺人も厭わなかつたりと、決して純粋な善人という訳ではない。

・座右の銘：鳶飛魚躍えんびぎょやく

・知識：とても人の想像がつかない程の長い年月を生きてきた為、単純な知識の総量ならばフミをも凌ぐ。ただし、近年になって人類が生み出したゲームや漫画などの娯楽については、知識としては知つても、その流行などには疎く、本人も特に興味はない。

・健康：特に問題はない。しかし、余りにも色白である為、本編において、威月から『どこか調子でも悪いのか』と心配される描写がある。

・趣味：特になし。

・好物：特になし。

・嫌いなもの：特になし。

・武器・特になし。

・スポーツ歴・経験なし。

・得意なスキル・あらゆる魔法において規格外の強さを見せるが、特に魔力属性全般において高い能力を發揮する。

・特技・特になし。

・過去： が交通事故に遭い、同じく被害にあった彼の母親が手術を受けている際、彼女の意識の中に現れ、ほぼ助かる見込みのない を何とかして助けてあげようかと提案した。理由は、の母親が『』から流れ込んできた、この世の摂理から外れた存在であり、それを受け継ぐ の中に眠る無限の可能性に興味を持つた為。しかし、ほぼ死んだ状態に等しい を回復させるのは並大抵の事ではなく、 が母親、どちらかしか助ける事は出来ないと残酷な事實を彼女に告げる。しかし、 の母親は、息子の為ならば喜んで自分が犠牲になる、と一つ返事で憂う者に息子を頼み、また、出来る事ならばこれからも の事を気にかけてやって欲しいと頼む。最終的に は奇跡的に死の淵から生還し、母親はそんな彼をそつと抱きしめた後に息を引き取つてしまつが、その一部始終を見ていた憂う者は、昔から僅かに抱いていた『人類に隠された無限の可能性』に対する興味をさらに強め、死んだ母親の強い意志を受け継ぐ の事を『輝く者』と呼ぶようになる。それから本編に至るまでの事件の間もずっと、密かに彼の成長を見守つてきた。

・家族：なし（ある意味で、 が親と言つ事も出来る）。

・恋人：なし

・休日に行きたい旅行先・特になし。

## 『ティコ』

ティコ（男&女）

・性別：男性と女性の2人（？）がいる。

・年齢：不明

・身長：男>178センチ。女>162センチ。

・体重：不明

・誕生日：不明

・星座：不明

・血液型：不明

・住所：死に顔サイト『ニカイア』

・種族：プログラム

・容姿：男>薄紫色の髪をオールバックにし、執事然とした佇まいが特徴で、皺のない燕尾服を見事に着こなしている。女>髪や目の色は男と同じ薄紫色。胸元や肩の部分が大きく露出した大胆なバニーア服を着ており、頭には黒いウサギの耳飾りを付けている。

・職業：死に顔サイト『ニカイア』のナビゲーター。

- ・尊敬する人物：憂う者
- ・好きな本：なし
- ・好きな映画：なし
- ・性格：男>丁寧な言葉使いが特徴。女>かなりはつちやけた言葉使いが特徴。
- ・座右の銘：運否天賦うんぱくてんぷ
- ・知識：余り多くは語らないが、実は彼等の創造主である憂う者とほぼ同等の知識を蓄えており、アカシック・レコードの法則などにも詳しい。
- ・健康：事件の最中において、プログラムの故障などが確認される事はない。
- ・趣味：特になし。強いて言つならば、主人である憂う者が気にかけている威刃と談笑する事。
- ・好物：特になし
- ・嫌いなもの：特になし
- ・武器：特になし
- ・スポーツ歴：経験なし

- ・得意なスキル：特になし

- ・特技：特になし

- ・過去：事件発生よりも僅か数週間前に造られた為、過去と言える  
ような過去はない。

- ・家族：なし

- ・恋人：なし

- ・休日に行きたい旅行先：特になし

## 『テラテカ』

『テラテカ（判トモヒコ）

- ・性別：男
- ・年齢：41歳
- ・身長：177センチ
- ・体重：60キロ
- ・星座：おとめ座
- ・誕生日：9月22日
- ・血液型：A B型
- ・住所：名古屋
- ・種族：人間
- ・容姿：赤毛のパークマーチと無精髭がトレードマークで、事件内においては帽子を曰深に被り、素顔を隠している。くたびれた黒スースの上から黄土色のコートを羽織っているその様は、まさに現場の刑事を思わせる。
- ・職業：刑事（事件直前に殉職という形で退職している）。

・尊敬する人物：西郷隆盛

・好きな本：『手紙』

・好きな映画：『隠し砦の三悪人』

・性格：例え相手が誰であろうとも、事件の真相を解明する為ならば無茶を無茶とも思わない勇敢な元刑事。事件の際も、とても警察など當てに出来ない状況にありながら、自らの仕事を放棄した警官に対し『何の為に警官になつたのか』と諭していた。また、この世の何よりも娘であるアリを大切にしており、ある事情で本編内でも顔を合わせられない状況にありながら、常に彼女の身を案じていた。

・座右の銘：忠勇義烈ちゆうゆうぎれつ

・知識：口ナウドのかつての職場の上司なだけあって、警察や捜査に関する知識には彼以上に精通している。

・健康：健康とは余り関係ないが、生まれつき、靈感が一般平均量のそれを遥かに下回つており、本編においてはほぼ全キャラクターが使用している悪魔召喚アプリも、彼には使用できなかつた。

・趣味：野球観戦

・好物：沢庵

・嫌いなもの：ケーキ

・武器：本編内では、護身用の為に常に拳銃を持ち歩いている。

・スポーツ歴：中学、高校、大学を通して野球部に所属しており、大学もスポーツ推薦で入学していた。

・得意なスキル：なし

・特技：本人曰く非常に我慢強い性格で、まだ刑事をしていた頃は、ロナウドと共に14時間にも及ぶ立ち張り込みをした事もあつたらしい（ちなみに、ロナウドは10時間の段階で既に根を上げ始めていた）。

・過去：ノンキャリアで警察官になつた身でありながら、相手が誰であろうと自分の主張を曲げず、上司とも度々衝突していた為、その上司を始めとするキャリア組からは忌み嫌われていた。過去に発生した通り魔事件の真相を追つていぐ内に、日本の最暗部である峰津院家とジップスの存在に辿り着き、その事が原因で、政府から追われる身となる。しかし、身の危険を敏感に感じたデラデカは、同組織が動き出した時には、既にその身をくらませていた。

・家族：母、娘、息子

・恋人：なし

・休日に行きたい旅行先：いつか、娘と一緒にウィーンに行きたいと思っている。

## 『悪魔』

### オバリヨン

昔話などで語られる妖怪の一種。曰く、夜、藪の中を歩いているときなり『おぼりよん』と言しながら、背中に負ぶさつてくるらしい。

しかも、ただ負ぶさつてくるだけではなく、以降は、かなりの速さで体重が増していく、簡単には離れなくなるといへ、實に厄介な妖怪である。

また、地方によつては『ぱりよん』と言ひ事もあり、これには『負われたい』という意味がある。

### ポルターガイスト

『ポルターガイスト』とは、ドイツ語で『騒がしい靈』という意味の言葉として有名だが、学説的には『そこにいる誰一人として手を触れていないので、物体の移動、物をたたく音の発生、発光、発火などが繰り返し起こるとされる、通常では説明のつかない現象』とされ、厳密には、悪魔や妖怪などの個別名称という訳ではない。

最も有名な例としては、1900年代終盤、イギリス、ミドルセックス州で起きた『エンフィールドのポルターガイスト』等がある。

この事件は、その話題性から非常に多くの騒ぎを引き起こし、例えれば『壁や床をたたく音がする』『家具が動く』『変なボヤが起きる』『物が他の物を通り抜ける』『得体の知れない声が聞こえる』などの、まさにポルター・ガイストを象徴するかのような事件が度々起こり、何と、その発生期間は1年2ヶ月と、現在確認されているポルター・ガイスト現象の中では、史上最長とされている。

無論、この件を単なる「太話と決め付ける事は簡単だが、この事件は過去最長であるだけではなく、『始めから終わりまでの記録が全て残っている』『調査によって確認された現象が1500を越えている』『一部には、録音テープや写真や動画として記録されたものもある』など、一概にはでっちあげとは断言できない程の、こうした記録の量こそが、この事例に最も説得力を与えている。

## ピクシー

イングランド南西部のサマーセット、デヴォン、コーンウォール地方などで頻繁に目撃されている精霊の一種。

これらの地方では、昔から伝わる『洗礼』を受けずに死んだ子供の靈がピクシーになる、という伝承があり、それまでは『人間と天使の中間の存在』として、17世紀の作家たちが描いた超自然的生物がもたらす、魔法的状態を指す言葉、という認識が一般的であった。

諸説の中には画像として残された物もあり、一例として、イギリ

スの小さな村であるコティングレイにおいて、フランシス・グリフ  
イスという10歳の少年が撮影した写真などがある。そこには、1  
3歳の少女エルシー・ライトと戯れる、背中に昆虫の様な羽を持つ、  
美しい、小さな女性の姿が写っているとされている。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6621y/>

---

DEVIL SURVIVOR2-ARCHIVES-

2011年11月24日19時49分発行